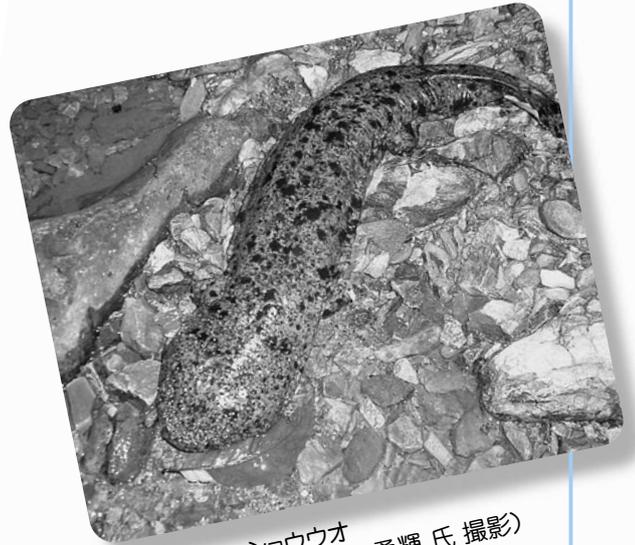


# 大切な 甲賀市の自然 ⑥

甲賀市内にすむ  
絶滅が心配される動植物や  
それらを育む大切な  
自然についての連載です

## 溪流の主・ オオサンショウウオ



オオサンショウウオ  
(大阪府立大学 田口勇輝氏撮影)

「オオサンショウウオ」は国の特別天然記念物としても有名で、体長は最大約1mになります。カエルと同じ両生類の仲間、一生の間、溪流で魚など水生生物を食べて暮らします。夜行性で、昼間は川岸の横穴などに潜んでいるので、野生の姿を見た人は少ないことでしょう。

このオオサンショウウオ、実際に個体数が少なく、棲んでいる場所も限られます。滋賀県では最も絶滅が心配される『絶滅危惧種』(滋賀県・2006年)です。

実は、甲賀市内には県内で限られた大切な生息地があります。信楽町の大戸川上流域では繁殖が確認され、甲南町の方によると杉谷川上流域では複数の記録があるそうです。しかし、甲南町では近年の記録が無く、絶滅が心配されます。

オオサンショウウオが棲んでいることは、川の自然が本当に豊かな証拠です。大きなサンショウウオが生きるには、多くの小魚やサワガニなどがすむ環境が必要だからです。

こうした生き物の多い川は険しい山奥よりも、身近な里地に多くあり、人間の生活と深く関係します。川の自然が失われると、人間も川の恵みを受け取れなくなるのです。

### みなくち子どもの森自然館

☎ 63-6712 FAX 63-0466

9月の  
休園日

4(月)、11(月)、19(火)  
25(月)

## 甲賀市文化協会連合会文芸欄

今回は甲南町文化協会からお寄せいただきました。

### 草笛句会

- ・登り鮎巖間の激流一息に
  - ・老鶯の今朝も耳から目覚めけり
  - ・紫陽花や小径の奥の遺作展
  - ・朝な夕夫の呼ぶかに不知婦
  - ・梅雨小やみ廻る遊具に子等ふえて
  - ・来ぬ人を待ちて日傘を廻しおり
  - ・杜若和服似合ひし亡母のこと
  - ・国訛やさしき故郷花菜風
  - ・すれちがう僧衣透けをり京薄暑
  - ・麗らかなや金波銀波に琵琶の湖
  - ・寺を継ぐ凍々しき眉や濃紫陽花
- 藤田じょう  
八里 秀子  
仁木 鈴江  
西村 幸子  
久次米昌子  
福井えきの  
小山 君枝  
西尾 康子  
清野 光代  
清家 眞  
森田うた子

### 鹿深句会

- ・和鉄で切る鉛細工春祭り
  - ・投函は文の旅立ち風薫る
  - ・こけしみな一重脛や花さつき
  - ・花菖蒲紫ほごく風のみち
  - ・汗とばし少年男に育ちゆく
  - ・風青し鳩は胸から歩を始む
  - ・余生まだ燃ゆるものあり杜鵑花
  - ・さつき寺久に姉妹の京言葉
  - ・代田映す逆さ里山うつくしき
  - ・運針のごとく毛虫の急き渡る
- 村上しげとし  
寺井 昭一  
八里 秀子  
立岡 由子  
田中美由紀  
吉永ひろし  
西浦敬之助  
藪井ハル子  
中川杜子圃  
吉福佐とし

### かたつむり俳壇

- ・祭笛かなしきまでに田の澄めり
  - ・童子墓母恋ふ色に初ぼたる
  - ・南無三宝世継観音仏桑花
  - ・湧き水や句碑の崩し字涼を呼ぶ
  - ・水馬忍びの里に池多し
  - ・神輿かく茶髪の若き声高し
  - ・参道は露店賑はう夏祭
  - ・法被着て祭りはいだ子は二十才
  - ・地下道を上れば祇園囃子かな
  - ・麦秋や明日の約束日は沈む
  - ・賑やかな祭り囃子に君見えぬ
  - ・玉葱獲る携帯電話腰につけ
- 八里 秀子  
田中美由紀  
田中みつを  
山根 弘之  
柄川由紀子  
木村 テル  
松井 まつ  
杉本 定子  
井上マヌエ  
藤田 啓子  
土田 衣章  
吉福佐とし

次号(10月1日号)は、甲賀町文化協会の予定です。